

「川越市上下水道ビジョン（原案）」に対する意見募集の結果について

1 意見募集の概要

(1) 募集期間 平成30年8月20日（月）から平成30年9月18日（火）

(2) 募集対象

- ①市内に住所を有する方
- ②市内の事業所等に勤務する方
- ③市内の学校に在学する方
- ④その他この案に関し利害関係を有する方

(3) 閲覧場所 事業計画課、政策企画課、各市民センター、南連絡所

(4) 意見提出方法

- ①直接持参
- ②郵送
- ③FAX
- ③市ホームページからの電子申請

2 意見募集の結果

(1) 意見提出者 3名

(2) 意見件数 7件

3 意見の概要と市の考え方

提出された意見の概要と、それに対する市の考え方は以下のとおりです。

No.	意見の概要	市の考え方
1	上水道の利用量の減少を勘案し、恵まれた地下水の利用への転換を。	地下水は、災害時や大規模渇水への備えとしても重要な水資源である一方、水道水の安定供給を図るためには一定量の県水受水も必要となります。 ご意見頂いたことを踏まえ、今後も、各井戸における水質や揚水量、設備の更新費用等を踏まえ維持管理を行いながら、地下水と県水のバランスのとれた水源の確保に努めてまいります。
2	下水汚泥のバイオマス燃料化と併せて生ごみのバイオマスエナジー、IT・AIの急速進化を読み取った技術、経営、構造改革等の将来を見据えたビジョンを示されたい。	本市の下水処理は、荒川右岸流域下水道の新河岸川水循環センターと新河岸川上流水循環センターで県が一括して処理しておりますので、本市下水道事業として下水汚泥のバイオマスの燃料化は出来ない状況です。 IoTやAIの利用につきましては、ご意見頂いたことを踏まえ、今後も技術の進化に注目し、新たな技術の活用により上下水道事業が抱える課題の解決や、お客様サービスの向上に向けて努めてまいります。

No.	意見の概要	市の考え方
3	<p>経営収支の改善のため、以前からの継続と維持管理から抜本的に将来に向けた発想の転換が求められる。</p>	<p>本市の上下水道事業を適切に持続するために、今後も経営収支の改善を続けていくことが必要と考えております。</p> <p>ご意見頂いたことを踏まえ、従来からの取組を検証しながら、業務運営の改善や経営基盤の強化を図るための各種の取組を積極的に行ってまいります。</p>
4	<p>安易な民営化は自治体、議会、住民の立場が弱くなり、しかも後年の財政負担を招くことについて、さまざまな事例（水道だけでなく他の分野でも）が報告されている。高度な専門性が求められ、自治体職員が継承して行ってほしい。</p>	<p>民営化につきましては、ポンプ場の運転管理、料金徴収等可能な業務から個別に民間委託を図っておりますが、コンセッション方式等につきましては、埼玉県が推進する広域連携化についての検討を優先して行なっていく考えから、本市ではまだ具体的な検討、議論が進んでいない状況です。</p> <p>また、人材育成につきましては、様々な研修や日常業務を通じて長期的な観点から技術継承に取り組み、事業環境の変化や新しい課題にも的確に対応できる人材の育成を引き続き行ってまいります。</p>
5	<p>水道料金の値上げに向けた文章も見られたが、更新工事をしていないところほど、水道料金が高くなっている。（和歌山県）</p> <p>設備更新→料金高くするというのはいかがなものかと思う。</p>	<p>安全な水道水の供給を確保するためには、老朽化した施設・設備の適切な更新は避けられません。ただし、施設・設備の更新が一概な料金値上げを招かないよう、財政収支バランスや、施設・設備の更新を行わないことにより発生するリスク等を考慮し、慎重に検討してまいります。</p>
6	<p>広域化は、必ずしも住民のためにならないと考える。広く住民参加の計画を進めてほしい。</p>	<p>広域連携につきましては、埼玉県が、経営基盤の強化等を目的に推進を図っております。本市では近隣の事業者とともに埼玉県が設置する協議会等に参加し、市民の皆様のご意見を頂きながら、県や近隣事業者と検討を進めてまいります。</p>
7	<p>市は<川越広域水道企業団（仮称）>を検討し、その具体的な計画の策定を「川越市上下水道ビジョン（原案）」に盛り込む。</p>	<p>（このセルは6番目と重複する内容のため、ここでは省略します）</p>